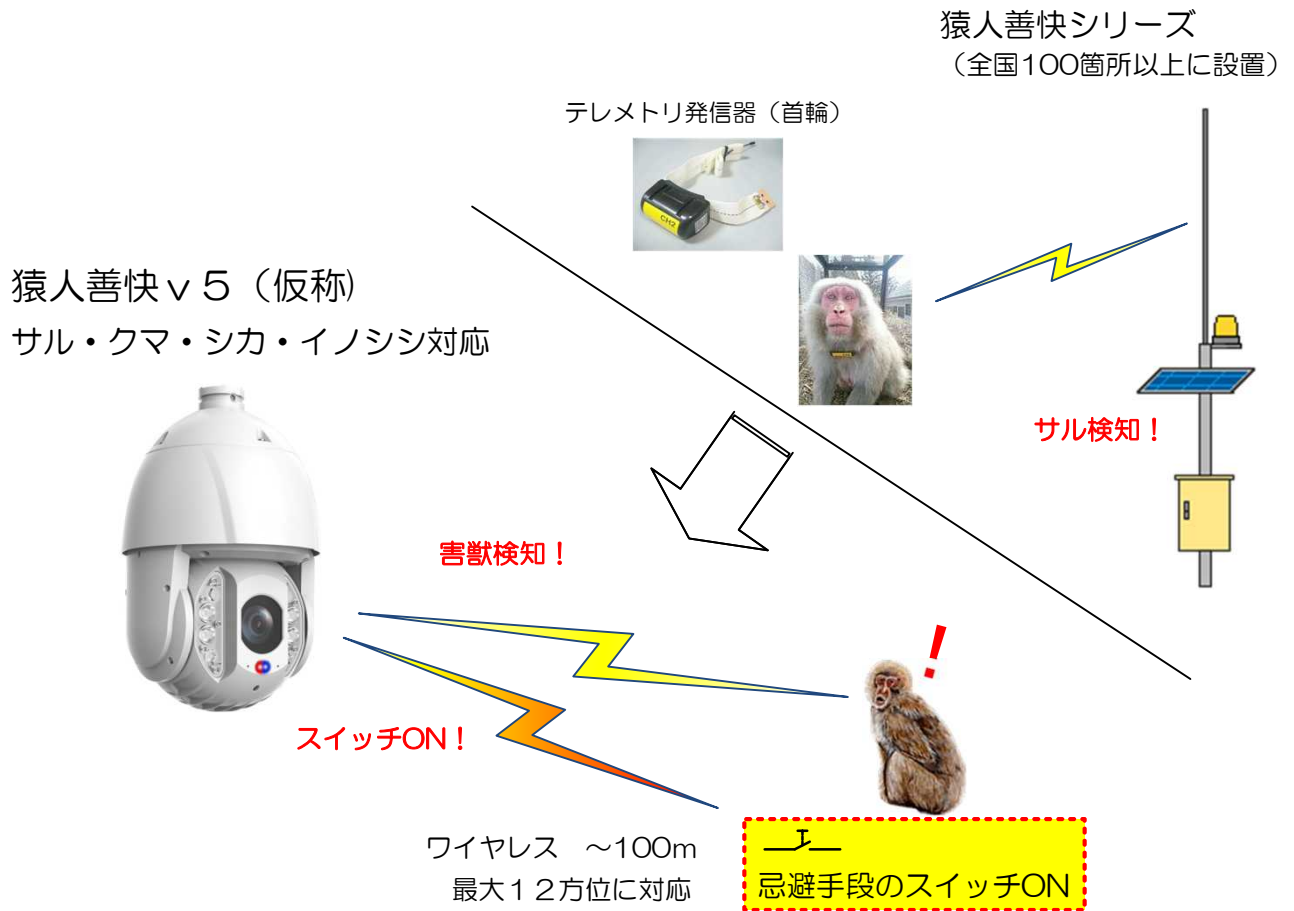


# 害獣接近警戒システムの進化



害獣検知場所 (位置) に一番近い忌避装置を稼働させることで、より高い忌避効果が期待できる

## 従来の接近警戒システム「猿人善快v3」との比較

### メリット

事前のテレメトリ発信器装着の手間が省けます  
通知あるいは忌避手段の選択肢が増えます  
警戒対象とする害獣の種類が増えます  
ITの活用範囲が広がります (例: 検知画像添付のMail通知)

- 画像識別 (サル・イノシシ・シカ・クマなど)
- 検知後自動追尾
- 検知位置情報出力 (RS-485)
- 検知出力 (無電圧接点)
- 通知機能 (mail通知/検知画像添付)

### デメリット

電波探知距離500m~1Kmに比べ、目視と同じですから検知識別できる距離は最大で100mくらいと短くなります